

国は人民の殻なり——ナシヨナリス卜福澤諭吉



拓殖大学顧問 渡辺 利夫

福澤諭吉の最高傑作は何かと問われれば、『文明論の概略』(明治8年)を挙げるであろう。議論の密度、説得力、文章の格調の高さからして私にも異存はない。同書は福澤が最も知力旺盛な時期に、力の限りを尽くして書き上げた大作である。

福澤は文明化がなぜ重要かといえば、それは自国の独立を保つためである。文明は独立を維持するための「術」に過ぎないという。日本の最高の課題は独立であって、そのための手段として文明を捉えるべきである。思考の順序を取り違えては絶対にならない、と福澤外にも読者に十分には理解されていない。多読『文明論の概略』が福澤の真意なのである。

理想主義的というより空想的な憲法と憲法解釈に則り、自国の防衛に己の身を削ることの少なかつたのがわが日本である。ロシアの残忍なウクライナ侵攻がなお続く。中国では台湾統一への野望がいよいよ強い。北朝鮮の核も、ついに実戦化の段階に入った。

昨年末、国家安全保障戦略に関する「防衛三文書」が閣議決定の運びとなった。ようやくにして、である。日本もパシフィズム(反戦平和主義)、つまり軍事力を嫌悪し、外交に過剰な期待を寄せるこの思想から脱しようという姿勢を見せ始めたのか。

三文書の作成者もそのことを承知していないはずだが、これを越えようと憲法論議にまで踏み込まざるを得ない。それゆえ、旧来のフレイズにとどまっただものと想像される。核抑止戦略の方は非核三原則をうたうことによつて封印されてしまったかの感さえある。

「反撃能力」の整備によつて対応すると明記されたことは評価されていいが、専守防衛、非核三原則、必要最小限度によつて確かな反撃能力が担保できるのか。憲法制約をいかに乗り越えるか、難題がなお山積している。

戦後の日本人は、自分の国は自分で守るというナシヨナリズムを長らく欠落させてきた。戦後70数年の間、日本は国際社会の中で、独立自尊の精神をすっかり忘れてきた。幕末・明治期に苦渋に満ちた思考を強いられた大いなるナシヨナリスト福澤諭吉の声に、最も深く耳を傾けるべきは現代の日本人なのではないか。『時事小言』(明治14年)において福澤はこういふ。現代語訳にして記しておこう。

福澤といえば、「国権」よりも「民権」の大切さを説いた自由民権論者とみなされがちであり、事実、そのように記している解説書が今でもある。しかし、国会開設や普通選挙の実現などを求める自由民権運動が大きな政治的潮流となつてい た明治14年に書かれた『時事小言』の中で福澤は、はつきりこう述べている。ここも現代語訳で記しておく。

福澤諭吉の最高傑作は何かと問われれば、『文明論の概略』(明治8年)を挙げるであろう。議論の密度、説得力、文章の格調の高さからして私にも異存はない。同書は福澤が最も知力旺盛な時期に、力の限りを尽くして書き上げた大作である。

福澤は文明化がなぜ重要かといえば、それは自国の独立を保つためである。文明は独立を維持するための「術」に過ぎないという。日本の最高の課題は独立であって、そのための手段として文明を捉えるべきである。思考の順序を取り違えては絶対にならない、と福澤外にも読者に十分には理解されていない。多読『文明論の概略』が福澤の真意なのである。

理想主義的というより空想的な憲法と憲法解釈に則り、自国の防衛に己の身を削ることの少なかつたのがわが日本である。ロシアの残忍なウクライナ侵攻がなお続く。中国では台湾統一への野望がいよいよ強い。北朝鮮の核も、ついに実戦化の段階に入った。

三文書の作成者もそのことを承知していないはずだが、これを越えようと憲法論議にまで踏み込まざるを得ない。それゆえ、旧来のフレイズにとどまっただものと想像される。核抑止戦略の方は非核三原則をうたうことによつて封印されてしまったかの感さえある。

「反撃能力」の整備によつて対応すると明記されたことは評価されていいが、専守防衛、非核三原則、必要最小限度によつて確かな反撃能力が担保できるのか。憲法制約をいかに乗り越えるか、難題がなお山積している。

戦後の日本人は、自分の国は自分で守るというナシヨナリズムを長らく欠落させてきた。戦後70数年の間、日本は国際社会の中で、独立自尊の精神をすっかり忘れてきた。幕末・明治期に苦渋に満ちた思考を強いられた大いなるナシヨナリスト福澤諭吉の声に、最も深く耳を傾けるべきは現代の日本人なのではないか。『時事小言』(明治14年)において福澤はこういふ。現代語訳にして記しておこう。

福澤といえば、「国権」よりも「民権」の大切さを説いた自由民権論者とみなされがちであり、事実、そのように記している解説書が今でもある。しかし、国会開設や普通選挙の実現などを求める自由民権運動が大きな政治的潮流となつてい た明治14年に書かれた『時事小言』の中で福澤は、はつきりこう述べている。ここも現代語訳で記しておく。

福澤諭吉の最高傑作は何かと問われれば、『文明論の概略』(明治8年)を挙げるであろう。議論の密度、説得力、文章の格調の高さからして私にも異存はない。同書は福澤が最も知力旺盛な時期に、力の限りを尽くして書き上げた大作である。

福澤は文明化がなぜ重要かといえば、それは自国の独立を保つためである。文明は独立を維持するための「術」に過ぎないという。日本の最高の課題は独立であって、そのための手段として文明を捉えるべきである。思考の順序を取り違えては絶対にならない、と福澤外にも読者に十分には理解されていない。多読『文明論の概略』が福澤の真意なのである。

理想主義的というより空想的な憲法と憲法解釈に則り、自国の防衛に己の身を削ることの少なかつたのがわが日本である。ロシアの残忍なウクライナ侵攻がなお続く。中国では台湾統一への野望がいよいよ強い。北朝鮮の核も、ついに実戦化の段階に入った。

三文書の作成者もそのことを承知していないはずだが、これを越えようと憲法論議にまで踏み込まざるを得ない。それゆえ、旧来のフレイズにとどまっただものと想像される。核抑止戦略の方は非核三原則をうたうことによつて封印されてしまったかの感さえある。

「反撃能力」の整備によつて対応すると明記されたことは評価されていいが、専守防衛、非核三原則、必要最小限度によつて確かな反撃能力が担保できるのか。憲法制約をいかに乗り越えるか、難題がなお山積している。

戦後の日本人は、自分の国は自分で守るというナシヨナリズムを長らく欠落させてきた。戦後70数年の間、日本は国際社会の中で、独立自尊の精神をすっかり忘れてきた。幕末・明治期に苦渋に満ちた思考を強いられた大いなるナシヨナリスト福澤諭吉の声に、最も深く耳を傾けるべきは現代の日本人なのではないか。『時事小言』(明治14年)において福澤はこういふ。現代語訳にして記しておこう。

福澤といえば、「国権」よりも「民権」の大切さを説いた自由民権論者とみなされがちであり、事実、そのように記している解説書が今でもある。しかし、国会開設や普通選挙の実現などを求める自由民権運動が大きな政治的潮流となつてい た明治14年に書かれた『時事小言』の中で福澤は、はつきりこう述べている。ここも現代語訳で記しておく。

福澤諭吉の最高傑作は何かと問われれば、『文明論の概略』(明治8年)を挙げるであろう。議論の密度、説得力、文章の格調の高さからして私にも異存はない。同書は福澤が最も知力旺盛な時期に、力の限りを尽くして書き上げた大作である。

福澤は文明化がなぜ重要かといえば、それは自国の独立を保つためである。文明は独立を維持するための「術」に過ぎないという。日本の最高の課題は独立であって、そのための手段として文明を捉えるべきである。思考の順序を取り違えては絶対にならない、と福澤外にも読者に十分には理解されていない。多読『文明論の概略』が福澤の真意なのである。

理想主義的というより空想的な憲法と憲法解釈に則り、自国の防衛に己の身を削ることの少なかつたのがわが日本である。ロシアの残忍なウクライナ侵攻がなお続く。中国では台湾統一への野望がいよいよ強い。北朝鮮の核も、ついに実戦化の段階に入った。

三文書の作成者もそのことを承知していないはずだが、これを越えようと憲法論議にまで踏み込まざるを得ない。それゆえ、旧来のフレイズにとどまっただものと想像される。核抑止戦略の方は非核三原則をうたうことによつて封印されてしまったかの感さえある。

「反撃能力」の整備によつて対応すると明記されたことは評価されていいが、専守防衛、非核三原則、必要最小限度によつて確かな反撃能力が担保できるのか。憲法制約をいかに乗り越えるか、難題がなお山積している。

戦後の日本人は、自分の国は自分で守るというナシヨナリズムを長らく欠落させてきた。戦後70数年の間、日本は国際社会の中で、独立自尊の精神をすっかり忘れてきた。幕末・明治期に苦渋に満ちた思考を強いられた大いなるナシヨナリスト福澤諭吉の声に、最も深く耳を傾けるべきは現代の日本人なのではないか。『時事小言』(明治14年)において福澤はこういふ。現代語訳にして記しておこう。

福澤といえば、「国権」よりも「民権」の大切さを説いた自由民権論者とみなされがちであり、事実、そのように記している解説書が今でもある。しかし、国会開設や普通選挙の実現などを求める自由民権運動が大きな政治的潮流となつてい た明治14年に書かれた『時事小言』の中で福澤は、はつきりこう述べている。ここも現代語訳で記しておく。

福澤諭吉の最高傑作は何かと問われれば、『文明論の概略』(明治8年)を挙げるであろう。議論の密度、説得力、文章の格調の高さからして私にも異存はない。同書は福澤が最も知力旺盛な時期に、力の限りを尽くして書き上げた大作である。

福澤は文明化がなぜ重要かといえば、それは自国の独立を保つためである。文明は独立を維持するための「術」に過ぎないという。日本の最高の課題は独立であって、そのための手段として文明を捉えるべきである。思考の順序を取り違えては絶対にならない、と福澤外にも読者に十分には理解されていない。多読『文明論の概略』が福澤の真意なのである。

理想主義的というより空想的な憲法と憲法解釈に則り、自国の防衛に己の身を削ることの少なかつたのがわが日本である。ロシアの残忍なウクライナ侵攻がなお続く。中国では台湾統一への野望がいよいよ強い。北朝鮮の核も、ついに実戦化の段階に入った。

三文書の作成者もそのことを承知していないはずだが、これを越えようと憲法論議にまで踏み込まざるを得ない。それゆえ、旧来のフレイズにとどまっただものと想像される。核抑止戦略の方は非核三原則をうたうことによつて封印されてしまったかの感さえある。

「反撃能力」の整備によつて対応すると明記されたことは評価されていいが、専守防衛、非核三原則、必要最小限度によつて確かな反撃能力が担保できるのか。憲法制約をいかに乗り越えるか、難題がなお山積している。

戦後の日本人は、自分の国は自分で守るというナシヨナリズムを長らく欠落させてきた。戦後70数年の間、日本は国際社会の中で、独立自尊の精神をすっかり忘れてきた。幕末・明治期に苦渋に満ちた思考を強いられた大いなるナシヨナリスト福澤諭吉の声に、最も深く耳を傾けるべきは現代の日本人なのではないか。『時事小言』(明治14年)において福澤はこういふ。現代語訳にして記しておこう。

福澤といえば、「国権」よりも「民権」の大切さを説いた自由民権論者とみなされがちであり、事実、そのように記している解説書が今でもある。しかし、国会開設や普通選挙の実現などを求める自由民権運動が大きな政治的潮流となつてい た明治14年に書かれた『時事小言』の中で福澤は、はつきりこう述べている。ここも現代語訳で記しておく。

福澤諭吉の最高傑作は何かと問われれば、『文明論の概略』(明治8年)を挙げるであろう。議論の密度、説得力、文章の格調の高さからして私にも異存はない。同書は福澤が最も知力旺盛な時期に、力の限りを尽くして書き上げた大作である。

福澤は文明化がなぜ重要かといえば、それは自国の独立を保つためである。文明は独立を維持するための「術」に過ぎないという。日本の最高の課題は独立であって、そのための手段として文明を捉えるべきである。思考の順序を取り違えては絶対にならない、と福澤外にも読者に十分には理解されていない。多読『文明論の概略』が福澤の真意なのである。

理想主義的というより空想的な憲法と憲法解釈に則り、自国の防衛に己の身を削ることの少なかつたのがわが日本である。ロシアの残忍なウクライナ侵攻がなお続く。中国では台湾統一への野望がいよいよ強い。北朝鮮の核も、ついに実戦化の段階に入った。

三文書の作成者もそのことを承知していないはずだが、これを越えようと憲法論議にまで踏み込まざるを得ない。それゆえ、旧来のフレイズにとどまっただものと想像される。核抑止戦略の方は非核三原則をうたうことによつて封印されてしまったかの感さえある。

「反撃能力」の整備によつて対応すると明記されたことは評価されていいが、専守防衛、非核三原則、必要最小限度によつて確かな反撃能力が担保できるのか。憲法制約をいかに乗り越えるか、難題がなお山積している。

戦後の日本人は、自分の国は自分で守るというナシヨナリズムを長らく欠落させてきた。戦後70数年の間、日本は国際社会の中で、独立自尊の精神をすっかり忘れてきた。幕末・明治期に苦渋に満ちた思考を強いられた大いなるナシヨナリスト福澤諭吉の声に、最も深く耳を傾けるべきは現代の日本人なのではないか。『時事小言』(明治14年)において福澤はこういふ。現代語訳にして記しておこう。

福澤といえば、「国権」よりも「民権」の大切さを説いた自由民権論者とみなされがちであり、事実、そのように記している解説書が今でもある。しかし、国会開設や普通選挙の実現などを求める自由民権運動が大きな政治的潮流となつてい た明治14年に書かれた『時事小言』の中で福澤は、はつきりこう述べている。ここも現代語訳で記しておく。

「わたなべ」として 1939年6月甲府市生まれ。慶応義塾大学、同大学院修了。経済学博士。筑波大学教授、東京工業大学教授、拓殖大学総長を経て現職。オイスカ会長。外務大臣表彰。正論大賞。著書は『成長のアジア 停滞のアジア』『古野作造賞』『開発経済学』(大平正芳記念賞)、『西太平洋の時代』(アジア太平洋賞大賞)、『神経症の時代』(開高健賞正賞)、『台湾を築いた明治の日本人』、『後藤新平の台湾』人類もまた生物の一つなり『など多数。